

取扱補足説明書

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*取扱説明書と本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書と本書も併せてお渡しください。

 S350 (LED) ストップランプキット	適応商品	商品NO.
	GIVI E260/30TN/33/350 シリーズ K30N/N2<デイトナオリジナル>	68085

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行います。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。予めご了承ください。

本書では正しい取り付け、取り扱い方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> この商品は記載されている適応商品以外のケースには使用しないでください。 保安基準に抵触するため、ハイマウントストップランプを既に装備している車両には使用できません。 BMW の各モデルは、車両仕様上、この商品は使用できません。SWS（自己診断機能）が作動し、予期せず走行不能となる場合があります。
--	--

注意

 実施	<ul style="list-style-type: none"> 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行ってください。作業が適切に行われないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。 この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気づきの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。 商品取り付けのため、ケースへの穴開け加工（φ8：1箇所）が必要です。適切な工具で慎重に作業してください。作業が適切に行われないと、部品破損や取り付け不備（何れも保証対象外）の原因となります。 ケースへの穴開け加工を行う前に（1）指定型紙の表記寸法と実寸に差異がないこと、（2）切り取った型紙を加工するケースにあてがい、お互いの穴位置関係や上下左右位置関係に問題がないことを事前に十分確認してください。ケースへの穴開け加工を行うことにより発生した不具合や不利益につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。 指定型紙は印刷物につき、表記寸法と実寸に多少の誤差が生じる場合があります。指定型紙の表記寸法と実寸に万が一差異が生じる場合は、表記寸法通りの実寸となるよう、型紙に基準線を引き直してください。 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
--	--



その他

- ・ パッケージ開梱時やその後の商品取り付け・取り扱い時に、パッケージや構成部品（端面や突起部、バリなど）で予期せぬ怪我や事故（保証対象外）が発生する場合があります。事前に十分ご注意ください。
- ・ 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。塗装や小傷、歪みなど、程度の差につきましては予めご了承ください。
- ・ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行います。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。予めご了承ください。
- ・ この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。予めご了承ください。

商品内容

NO	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	ベース側接点&配線セット	一式	⑧	ランプハウジング	1
②	ベース側接点キャップ	1	⑨	ラバーブッシュ	1
③	ボトムシエル側接点&配線セット	一式	⑩	タッピングビス<長>	2
④	ボトムシエル下側接点キャップ	1	⑪	タッピングビス<短> *使用しない	2
⑤	トップシエル側接点	1	⑫	ナイロンワッシャ *使用しない	2
⑥	トップシエル側接点キャップ	1	⑬	結線コネクタ	2
⑦	LED ランプ基盤 *配線付き	1	⑭	結束バンド	2

※ 既に組み付け済みの部品や使用しない部品がある関係上、GIMI 取扱説明書（S350D）の部品 NO.との整合性はあり
ません。各部品の構成（種別や入数、寸法、外観など）は上記の表と以下の画像でご確認ください。

※ GIMI 取扱説明書（S350D）では⑦LED ランプ基盤と⑧ランプハウジングの組み付けに⑪タッピングビス<短>と⑫ナイロンワッシャを使用する図解となっておりますが、リフレクターへのハウジング ASSY 組み付けトラブルやその後のランプ配線断線リスクが高まるため、デイトナの経験則上オススメできません。そのため、この補足説明書ではこれら⑪⑫部品を使用しない組み付け手順としております。



取り付け作業の前に

この商品を取り付けするにはホットボンドやエポキシ系の接着剤が別途必要になります。予めお手元にご用意いただき、以降の作業を行なってください。

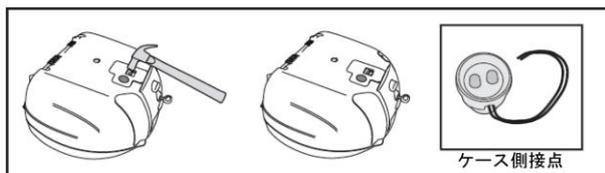
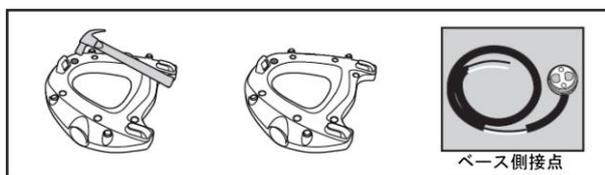
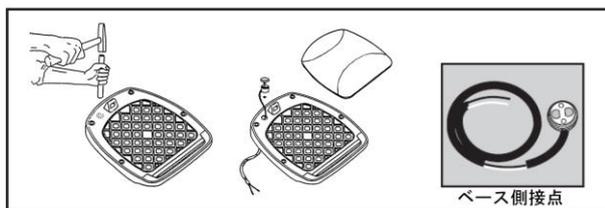
取り付け方法

※. 部品 NO.の整合性がありませんので、GIVI 取扱説明書 (S350D) は参照せずに作業を行ってください。

※. この商品の発光部はLED (発光ダイオード) につき、製造ロットにより配線色は異なりますが、極性 (電流の流れる向き) があります。各接点配線のプラス/マイナスが逆にならないよう、組み付け時に十分ご注意ください。

1. 下図を参考にベースとケースボトムシェルの接点取り付け部を打ち抜きます。ハンマーやポンチ、当て木、ウエスなどを適宜使用して、ベースはベース上面から、ケースボトムシェルはケース外側から、各々慎重に打ち抜き作業を行ってください。

※. この作業を行うことにより発生した不具合や不利益につきましては、如何なる場合でも当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。慎重に作業してください。また、開口部に生じたバリは、その後の作業に支障をきたさないよう、適切に取り除いてください。



補足説明 : 車体への配線接続

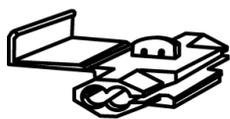
手順 1 で加工したベースに①ベース側接点 & 配線セットを組み付け、ベースを車体に取り付け、③結線コネクタと④結束バンドを適宜使用して、①接点の配線を車体配線に接続します。

ブレーキランプ (+) / アース (-) の純正配線色は車両により異なります。車両メーカー発行のサービスマニュアルにてご確認ください。尚、①接点のマイナス側配線は必ず車体のアース (-) 配線に接続してください。ボディアースは確実性に欠け、ランプの正常な点灯を妨げる原因となります。

配線接続位置や取り回し方法によっては①接点部品の配線の長さが足りない場合があります。その場合は0.5 SQ以上の配線を別途ご用意いただき、必要な長さに延長してください。

補足説明 : ③結線コネクタの使い方

① 結線コネクタ



② 貫通した穴の方へ純正ハーネスを通します。



片側がふさがった穴へハーネスを通します。

③ プライヤー等で金具を押し込みます。



しっかり押し込まないと接続不良になります。

④ フタを閉じて完了です。

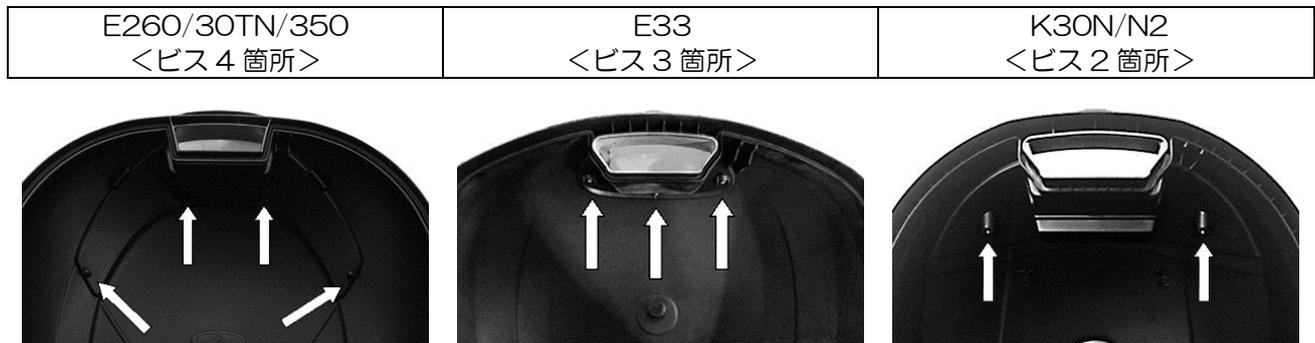


※. 純正ハーネスの被覆は剥かずに作業します。

※. より確実性を求める場合は、圧着パンチや配線小物 (各種端子やコネクタ、チューブなど) を別途使用した結線方法にて作業を行ってください。

2. 下図を参考にトップケースの蓋（トップシェル）を開け、内側よりビスを外し、トップシェルからリフレクターを取り外します。

※. トップケースの種別や製造ロットによっては、取り外したリフレクターの内側中央部にダミーホルダー（⑧ランプハウジングに相当する部品）やダミー型紙が組み付けられている場合があります。ダミーホルダーとダミー型紙は以降の手順で使用しませんので、この段階でリフレクターから取り外してください。



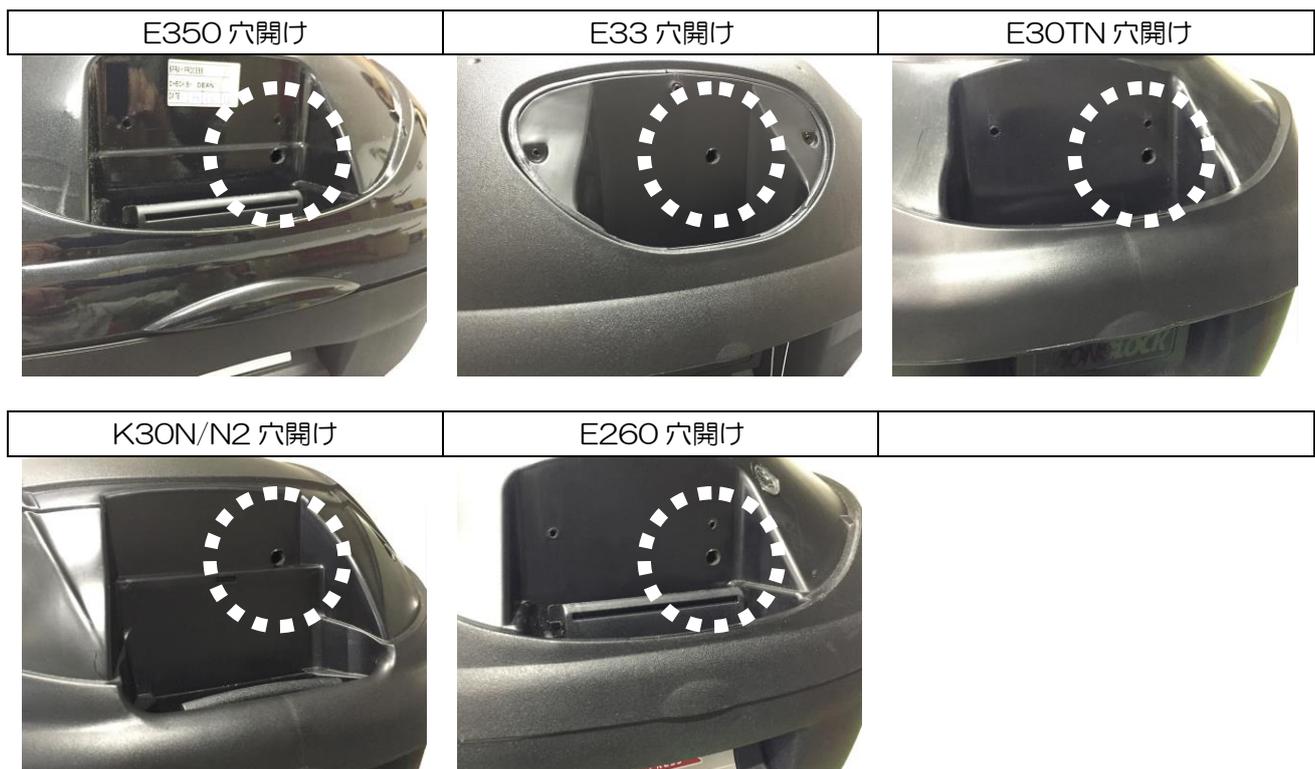
3. この補足説明書 P8 より該当するトップケース用の型紙を正確に切り抜き、手順 1 でリフレクターを取り外したトップシェルの正面中央部にあてがい、マスキングテープなどを適宜使用して位置決めします。

※. 指定型紙を切り抜く前に、型紙の表記寸法と実寸に差異がないことを十分確認してください。印刷物につき、型紙の表記寸法と実寸に多少の誤差が生じる場合があります。指定型紙の表記寸法と実寸に万が一差異が生じる場合は、表記寸法通りの実寸となるよう、型紙に基準線を引き直してください。

4. 問題なければ、下図を参考に型紙の穴開け指示箇所のセンターをトップシェル側に正確に写し取り、ドリルなどを適宜使用して、トップシェルに配線通し穴（φ8）を開けます。

※. ケース本体（トップシェル）への穴開け加工を行うことにより発生した不具合や不利益につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。慎重に作業してください。また、開口部に生じたバリは、その後の作業に支障をきたさないよう、適切に取り除いてください。

※. 穴位置が多少ずれても組み付けに支障はでにくいですが、配線通し穴の仕上がり穴径は必ずφ8としてください。穴が大きすぎるとその後の作業（⑨ラバーブッシュの組み付け）に支障をきたします。



5. 図 1 を参考に、配線取り出し位置に注意しながら⑦LED ランプ基盤を⑧ランプハウジングに正しく組み付け、ホットボンドやエポキシ系の接着剤などを使用して、ハウジング内部で基盤が不用意に動かないよう、図の太破線部（2箇所）で両者をしっかり固定します。

※. GIVI 取扱説明書（S350D）では、左図太破線部（2箇所）を⑪タッピングビス<短>と⑫ナイロンワッシャーで固定する図解となっておりますが、リフレクターへのハウジング ASSY 組み付けトラブルやその後のランプ配線断線リスクが高まるため、デイトナの経験則上オススメできません。

※. 製造ロットによっても異なりますが、⑦LED ランプ基盤の上下表示（UP 印字）は、この手順 5 の組み付けには無関係です。



* ⑧ハウジングの配線取り出し口

* ⑦基盤の UP 印字は組み付けには無関係

* ホットボンドやエポキシ系の接着剤などを使用して、ハウジング内部で基盤が不用意に動かないよう、太破線部（2箇所）でしっかり固定してください。

図 1

6. 配線取り出し位置と内部ゴムパッキンの位置ズレに注意しながら、手順 2 でトップシェルから取り外したリフレクターの内側に⑦/⑧LED ランプ ASSY を仮組みし、問題なければ⑩タッピングビス<長>（または元々のダミーホルダー固定ねじ）を使用して両者をしっかり固定します。（図 2 参照）

※. タッピングビスの斜めねじ込み、締め付けオーバートルクなどによるリフレクターのねじ受け樹脂部の破損には十分ご注意ください。

※. ねじ固定後、⑦/⑧LED ランプ ASSY がリフレクターから外れないことを十分ご確認ください。ダミーホルダー（⑧ランプハウジングに相当する部品）が組み付けられているリフレクターには、⑩タッピングビス<長>を使用するよりも、元々のダミーホルダー固定ねじを使用したほうがしっかり固定できる場合があります。適宜ご判断ください。

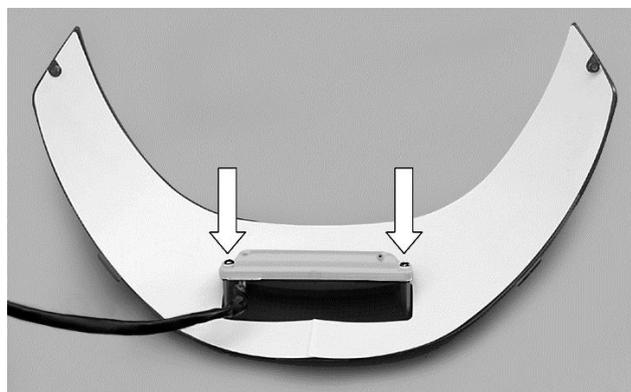


図 2

* 例は E260

7. 手順 6 でリフレクターに組み付けた⑦/⑧LED ランプ ASSY の配線を、手順 4 で加工したトップシェルの配線通し穴（φ8）にケース外側から通し、トップシェルの内側に引き込んだ配線に⑨ラバーブッシュを通し、そのまま穴の縁にしっかりとめ込みます。（図 3 参照）

8. ⑨ラバーブッシュが穴の縁から外れないよう注意しながら余剰の配線をトップシェルの内側に引き込み、手順 1 とは逆の手順で、リフレクター ASSY をトップシェルに元通り組み付けます。

※. ⑨ラバーブッシュが穴の縁から外れた状態でリフレクターを組み付けるとケース内部に雨水が入る原因となります。慎重に作業してください。

※. タッピングビスの斜めねじ込み、締め付けオーバートルクなどによるリフレクターのねじ受け樹脂部の破損には十分ご注意ください。

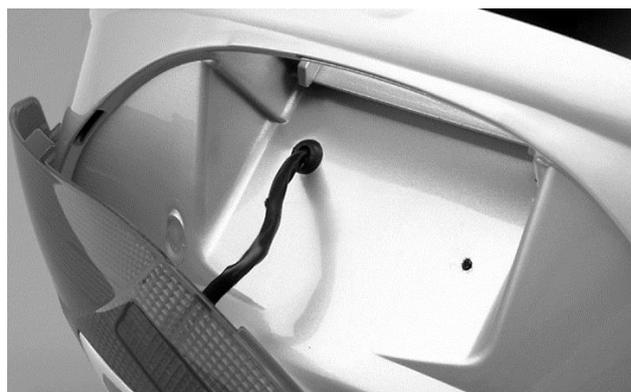


図 3

* 例は E260

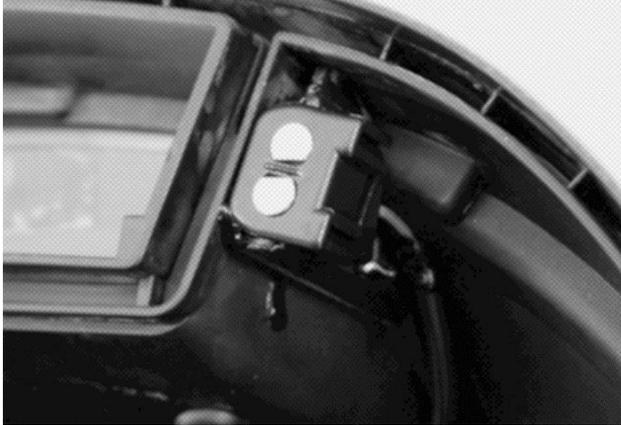
9. 手順 8 でトップシェルの内側に引き込んだ⑦/⑧LEDランプ ASSY の配線に⑥トップシェル側接点キャップを通し、配線を⑤トップシェル側接点に組み付けます。

※. ⑤接点端子に設けられた六角穴付きイモネジを一旦外し、先端を L 字に無理なく曲げた配線をイモネジ受け部の横貫通穴部に各々通し、その上からイモネジを締め込んでアセンブリします。作業に不備があると点灯不良の原因となりますので確実に作業してください。

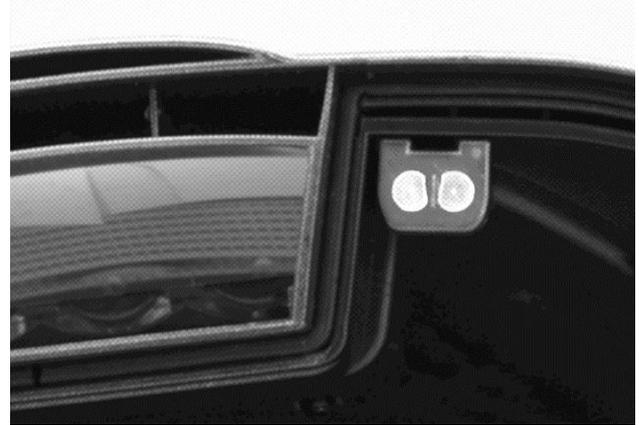
※. この段階では⑥接点キャップは⑤接点に組み付けしないでください。キャップを早計に組み付けると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

10. 下図を参考に、手順 9 でアセンブリした接点 ASSY をトップシェルに組み付けます。この段階ではキャップは接点に組み付けしないでください。

トップシェルへの接点取り付け：E260

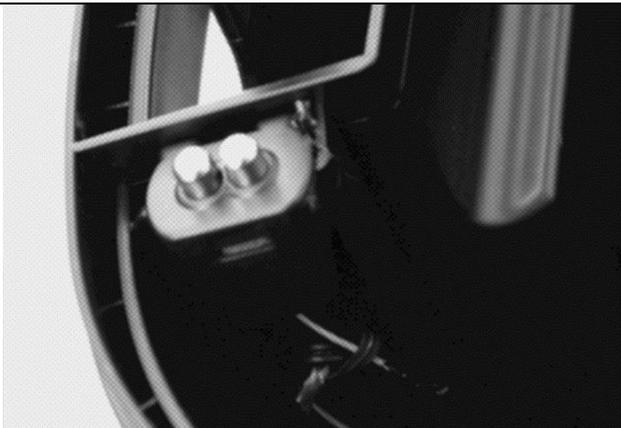


トップシェルへの接点取り付け：E260 以外



11. ③ボトムシェル側接点&配線セットの配線端子アセンブリ状態に不備がないこと（各配線が上下接点端子から不用意に外れないこと、各プッシュ式接点端子が単独で正しく上下可動すること）を事前に十分確認し、問題なければ下図を参考に、手順 1 で加工したケースボトムシェルの接点取り付け穴に③接点&配線セットをケース外側から通し、③接点&配線セットの上下接点をボトムシェルに組み付けます。この段階ではキャップは上下接点に組み付けしないでください。

ボトムシェル上側への接点取り付け：E260



ボトムシェル上側への接点取り付け：E260 以外



※. ③接点&配線セットの配線端子アセンブリ状態に不備がないことを事前に十分確認してください。不備がある場合は手順 9 を参考に、上下接点の配線端子の組み付けを正してください。作業後は、プッシュ式接点端子が単独で正しく上下可動することを必ず再確認してください。これら確認を怠ると点灯不良の原因となります。

※. この段階では③接点&配線セットにアセンブリされている上側接点キャップと⑥下側接点キャップは上下の接点に組み付けしないでください。キャップを早計に組み付けると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

※. この段階では③接点&配線セットにアセンブリされている上側接点キャップと④下側接点キャップは、③接点&配線セットの上下接点に組み付けしないでください。キャップを早計に組み付けると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

12. ケースの蓋（トップシェル）をロックした状態で、手順 1 で車体に取り付けたベースにケースを取り付け、車体のメインキーを ON にして、ブレーキランプを点灯させた際にケースの LED ランプが正常点灯することを十分確認します。LED ランプが点灯しない場合は車体のメインキーを一旦 OFF にして、下図および今までの作業手順を参考に、各接点の端子接合状態や配線端子のアセンブリ状態、車体配線～各接点～LED ランプ基盤までの接点配線のプラス/マイナスの整合性など、各部を見直してください。

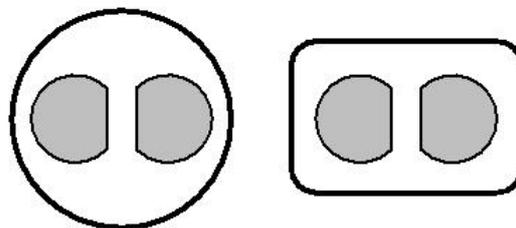
※. この商品の発光部は LED（発光ダイオード）につき、製造ロットにより配線色は異なりますが、極性（電流の流れる向き）があります。各接点配線のプラス/マイナスが逆にならないよう、組み付け時に十分ご注意ください。

補足説明：各接点の端子接合確認

接点部品をベースとケースに組み付けた後は、上下に合わさる各接点の端子接合が互いにしっかりできていることを十分確認してください。特に、ケースボトムシェルに取り付けた上下接点はどれもプッシュ式接点端子のため、端子が単独で正しく上下可動できないと、ケースの蓋（トップシェル）が閉まらない、ベースにしっかり取り付けできない、点灯不良になる（何れも保証対象外）などの不具合発生の原因となります。

補足説明：プッシュ式接点端子の注意点

この商品の各接点端子は右図のような D 型形状となっておりますが、配線を接点端子に組み付ける際、ねじの締め方向に端子が共回りしてしまい、所定の D 位置から大きくずれてしまう（D の形状が崩れてしまう）場合があります。特に、ケースボトムシェルに取り付けた上下接点はどれもプッシュ式接点端子のため、この位置ズレにより接点端子が単独で正しく上下可動できなくなります。ボトムシェルのプッシュ式接点端子の上下可動が渋い場合は、必ず端子を所定の D 位置に正してください。



*各接点端子は D 型形状となっております。ケースボトムシェルに取り付けた上下接点の端子は、D 型で且つプッシュ式となっております。

13. 異常がなければ、ケースの蓋（トップシェル）を何度か開け閉めを繰り返し、LED ランプが正常点灯することを十分確認します。

※. トップシェル側接点とボトムシェルの上側接点の端子接合が悪い場合は、互いの接点取り付け位置を上下微調整し、ホットボンドやエポキシ系の接着剤などを使用して、具合が良い位置でしっかり固定してください。この位置調整が不適切だと、走行使用時の点灯不良（保証対象外）が発生する原因となります。

14. 異常がなければ、ベース以外の各接点に指定キャップを組み付け、作業は完了です。

※. ②ベース側接点キャップは、ケースを取り付けていない状態の①ベース側接点端子の保護部品です。ベースにケースを取り付け走行使用する際は、毎回必ずベースから②キャップを取り外してください。

※. 以降、走行使用する際は必ず毎回ベースからケースを一旦取り外し、ベースとケースの各接点端子を清掃してください。接点端子が濡れたり汚れたりしたまま放置すると、点灯不良や配線ショートなど予期せぬ不具合（何れも保証対象外）の原因となります。

※. 走行使用時の車体振動や路面状況などによっては、各接点間に一時的な隙間が生じ、結果として断続的な点灯不良が発生する場合があります。異常ではありませんのでご了承ください。

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。 デイトナ商品についてのご質問、ご意見は

0120-60-4955 まで。営業時間：平日 午前 9：00～午後 6：00

URL 総合 <http://www.daytona.co.jp/>

G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>